



藤本 哲智 議員

Q 災害復旧に関連する町民の安全・安心を

A 〈町長〉

生活再建支援やインフラ復旧、防災・減災を推進する条例の制定、避難周知体制の強化などに取り組む。

〔Q1〕 発災後の熊野トンネルは周辺市町の主要幹線になった。渋滞により町内の枝道に車が流入し、通学路の安全が確保できない。平成32年12月の無料化後も同じような状況が想定される。今後の災害時対応も含めて熊野トンネルの複線化を働きかけたい。

〔A1〕 まずは通行不能となった県道矢野安浦線、県道瀬野呉線の強靱化を要望していく。

〔Q2〕 災害以前は1日の通行台数は約9千100台、災害後の無料化期間中は約3万4千台と4倍以上の通行台数であった。矢野安浦線開通後も無料期間の8日間の通行台数は2万4千台で若干の渋滞があった。無料化となった場合の

指数とも考えられるが。

〔A2〕 意見も参考として、広域的な道路網の整備充実を強く働きかける。

〔Q3〕 豪雨時、二河川が氾濫する勢いであった。氾濫を防ぐため浚渫を望む。

〔A3〕 県管理河川については強く県に働きかけ、町管理河川については計画的に浚渫していく。

〔Q4〕 常に町民の安全・安心を考えるのであれば、残暑時期の一斉清掃での川掃除を止めるべきではないか。

〔A4〕 災害により川の状態も変わっている。公衆衛生推進協議会に方向性の検討をお願いする。

Q 〈藤本 哲智 議員〉

今回の災害を受け町民の安全・安心の確保を

A 〈危機管理監〉

避難の勧告や指示のタイミング、避難所の開設時期など、事案ごとに適切な対応方法を計画する。

〔Q1〕 災害の種類による対応策の複数化のために複数のマニュアルの作成を急ぐ必要があるのでは。

〔A1〕 今回の長期の避難生活や運営等について検証を行った上で、台風、前線等による長雨、地震等を想定したマニュアルを作成する。

〔Q2〕 現在の避難所数・職員数で現状は対応できるが、更に大きな災害の場合を考え、各自治会館の開放を。

〔A2〕 自主防災組織等の協力が得られれば、支援をしていきたい。

〔Q3〕 各避難所による物資の平準化や、各学校体育館の避難所への車イスなどの配置を望む。

〔A3〕 検討していく。

〔Q4〕 ペット同行者に対する配慮を。

〔A4〕 施設ごとに飼育スペースの設営や避難所におけるルールづくりを検討する。

〔Q5〕 避難所での入所・退所の手続きの簡素化を。

〔A5〕 避難状況確認のため重要な書類であるが、様式の変更等、簡素化を検討する。

〔Q6〕 被災者向けの住宅に空き家の登録を。

〔A6〕 普段から空き家の状況把握に努めていく。

Q 早急な砂防ダムの建設を

A 〈町長〉

事業主体である県へ強い要望を重ねていく。

〔Q1〕 町内の砂防ダム・治山ダムの数と被害状況は。

〔A1〕 砂防ダム22箇所、治山ダム19箇所、治山ダムの2箇所が軽微な破損、砂防ダムの1箇所が小さな堰堤・堤体が破損し、修繕予定。

〔Q2〕 ダムに堆積した土砂や流木の搬出予定は。

〔A2〕 異常に堆積したものについては撤去する。

〔Q3〕 新宮七丁目等、新規のダム建設が必要と思われる箇所があるが。

〔A3〕 条件の整ったものから着手していくよう県に要望していく。

〔Q4〕 土岐城団地の上をはじめとする山腹付近に土砂が止まっている崩壊箇所に対する対応は。

〔A4〕 危険度を現在調査中である。

〔Q5〕 町内218箇所のため池の被害状況とその対応は。

〔A5〕 決壊を含め、修繕が必要のため池は11箇所が廃池を含め土砂の搬出を実施する予定。

〔Q6〕 雲母川の砂防ダム計画への影響は。

〔A6〕 若干の遅れが生じるが、必要な施設であることから引き続き県へ働きかける。

Q 〈時光 良造 議員〉

決壊した護岸の早急な修繕を

A 〈町長〉

二級河川については県へ要望を重ね、普通河川は町で順次実施していく。

〔Q1〕 町内の河川の被害状況は。

〔A1〕 県管理河川は32箇所、三谷川等砂防河川は25箇所、町管理河川においても25箇所の護岸の崩壊・埋塞を確認している。

〔Q2〕 熊野川、三谷川等で各所で堤防が破壊されており、早急な対応が必要と思われるが。

〔A2〕 上流部へ確実な堰堤の設置をし、護岸の復旧・堰塞土砂の撤去を確実にしていく。

〔Q3〕 営農振興のためにも耕作地に入った土砂撤去は緊急を要すると思うが、国の補助基準は。

〔A3〕 激甚災害に指定され

〔Q4〕 ペット同行者に対する配慮を。

〔A4〕 施設ごとに飼育スペースの設営や避難所におけるルールづくりを検討する。

〔Q5〕 避難所での入所・退所の手続きの簡素化を。

〔A5〕 避難状況確認のため重要な書類であるが、様式の変更等、簡素化を検討する。

〔Q6〕 被災者向けの住宅に空き家の登録を。

〔A6〕 普段から空き家の状況把握に努めていく。

〔Q4〕 以前、一般質問で熊野川に水位計の設置をお願いしたが。

〔A4〕 増水時にインターネットで見れる危機管理型水位計の熊野川への設置を要望している。

〔Q5〕 一を〇にするのではなく、十にする創造的復興を強く要望するが。

〔A5〕 災害を受けて、前向きで精密な町づくりを着実に進めていく。



▲ 三谷川崩壊箇所